

# やまがら

2021年  
春号  
No.42

松山市議会議員  
梶原ときよし

会派：ネットワーク市民の窓



やまがら(山雀)

毎年、冬には自宅に来てくれます。

## 一人ひとりが大切にされる 人間尊重社会を実現しよう。

- 松山市立の総合病院を設立し、コロナ等感染症対策を含め市民の命を守る！
- 官民癒着や税金の無駄遣いをやめさせ、高い市民負担を軽減させよう！
- 教育と子育て予算を増額し、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換させよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍する街にしよう。
- 伊方原発をやめて、自然エネルギーへの転換を促進しよう。(PPS電力の利用促進)
- 命、人権、環境、平和を大切に、子どもたちに安心未来を引き継ごう。



発行・梶原ときよし

森 前東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長の女性蔑視発言から

## 松山市におけるジェンダーギャップ (男女格差) について考える



特筆すべきは、我が松山市の現状です！  
◎にありますが、松山市役所の部長さん22人は、みんな男性です。  
真つ黒クロスゲ！女性部長率は、何とゼロパーセント(0%) ZEROです！  
野志市長が、よっぽど女嫌いか？男好き？なのか、私には分かりませんが、これが野志市政11年目の実態なんです。ですから議場のひな壇

世界ジェンダーギャップ報告(2020年)で日本は153か国中121位にランクされる発展途上国というより発展困難国のような気がします。

◎ 上場企業の女性社長率	1%
◎ 衆議院議員の女性率	10%
◎ 参議院議員の女性率	20%
◎ 松山市役所部長の女性率	0%

森発言の土壤にある日本のジェンダーギャップは、

この期に及んでもまだオリンピックパラリンピックを開催できると本気で考えているとは??

果たして開催する価値があるのでしょうか。

森前東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長の女性蔑視発言が、またまた世間を否世界中を騒がせてましたが、自分の差別発言を未だに理解できないようで、男社会にとっぴり浸かってきた不勉強極まりない自民党政治家の象徴のような気がします。

コロナの撃退どころか、福島復興さえもままならない状況で、世界からオリンピック・パラリンピック選手が来るとはとても思えません。福島原発事故による放射性汚染水は処理できず溜まる一方で、放射性物質を垂れ流しているながら「困り込んでいる」と大洞まで吹いて開催を強行しようとしているオリンピックに果たして開催する価値があるのでしょうか。

森発言を超える松山市役所の女性差別人事の実態。  
「フェアな競争原理が働いていない現状を」変えていかなければなりません。

というところで、明日からの松山市議会3月議会、梶原時義の一般質問は、森発言の土壤改良に向けて松山市政から差別をなくすための質問を皮切りに、残り時間1分40秒ながら全力投球したいと思っています。

2020年には女性部長を30%にする目標は、やっぱ口だけだったのか!?  
まあくなんせ、やりたい放題男性部長の言いなり市長ではしよせん無理かもしれせん！でもこの状態を放置しておいたのでは、議会や議員が女性差別を容認しているとも捉えられかねず、どうしても大至急に改善させなければならぬと思ひます。

2020年には女性部長を30%にする目標は、やっぱ口だけだったのか!?  
まあくなんせ、やりたい放題男性部長の言いなり市長ではしよせん無理かもしれせん！でもこの状態を放置しておいたのでは、議会や議員が女性差別を容認しているとも捉えられかねず、どうしても大至急に改善させなければならぬと思ひます。

2020年には女性部長を30%にする目標は、やっぱ口だけだったのか!?  
まあくなんせ、やりたい放題男性部長の言いなり市長ではしよせん無理かもしれせん！でもこの状態を放置しておいたのでは、議会や議員が女性差別を容認しているとも捉えられかねず、どうしても大至急に改善させなければならぬと思ひます。

野志市長も森さんと同じように「女性性は話が長い」「わきまえるもの」と考えているのかもしれないね？というのも、私が議会質問でこの10年間、何度もこの問題を取り上げていますが、市長は一向に女性部長登用を増やそうという気概がありません。

は男性部長きりなんです！異常だと思いませんか？  
正に女性差別状態そのものです。  
野志市長も森さんと同じように「女性性は話が長い」「わきまえるもの」と考えているのかもしれないね？というのも、私が議会質問でこの10年間、何度もこの問題を取り上げていますが、市長は一向に女性部長登用を増やそうという気概がありません。



## 100年に一度の危機を100年に一度の予算で 市民生活を公助するべきではないか!!

ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。  
私は、今議会に提案された2020年度一般会計補正予算案及び、2021年度一般会計予算案などの一部に反対の討論を行います。  
百年に1回と云われる新型コロナウイルス感染症とはいえ新型コロナウイルス感染症に対するあまりに無策な政治が市民生活を脅かし、市民の楽しみを奪っているような気がしてなりません。  
本市市政も同様、市民に「三密を避けてください」とお願いするだけで、何ら見通しの持てる政策を示せず、ひたすら国や愛媛県の指示待ち、予算待ち、或いはワクチンの到着待ちの下請け事業をするだけでは、市民から「お日様のしのし市政」と揶揄されても仕方がないような気がします。  
市長は、なぜサイレントキャリアと云われる無症状感染者を積極的に発見して、感染拡大を抑え込もうとしないのか？  
ワクチン接種体制を組む段階で行うべき、本市市民誰もが受けられるPCR検査体制を、どうして作ろうとしないのか？  
本当に不思議というよりは、コロナと闘う意志があるのか？と疑ってしまいます。  
野志市長には、本市の市民生活が、コロナウイルス感染症という未曾有の危機にあ



今、市長がやらなければならないことは、百年に一度の危機を百年に一度の予算をもって、コロナで厳しい生活を余儀なくされている市民と事業者を徹底的に「公助」で支援することではないでしょうか。  
無駄遣いをしていない場合じゃない!!  
けど、結局、2021年度の新年度予算案も、残念ながら昨年度予算のコピーをしたに過ぎない、味もスッパチもない、コロナで苦しむ市民生活を蚊帳の外に置いたセシスの欠片(かけら)もないものになっています。  
私から言えば、相変わらずの「本市行政にもぐれ付く一部業者に寄り添った」「無駄遣い満載の予算案」と言わなければなりません。  
◎本市市民への国民健康保険料負担軽減を取りやめて生活弱者から奪った3億円を企業立地奨励金等ばらまくのは、いいかげんやめるべきではないのか！  
◎30年以上にもわたり続ける、愛郷会補助金や特定団体への負担金等、いつまで無駄遣いを続ける気が済むのか？  
どうして2017年に完成予定だった新しいJR松山駅は未だに影も形もないのか？何をトロトロしているのか？トロトロするのは山芋でもするのではないのか？でも、それは誰も言わないけど、みんなが知っている事実？  
◎JR松山駅前後2・4キロに及ぶ、必要のない無駄なコンクリート高架橋事業に400億円どころか、いつの間にか600億円を使うからではないのか？  
1時間に上下4〜5本しか走らない開

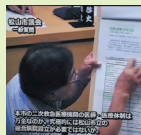
## 松山市定例市議会(年4回)に 11年間、44議会連続登壇を 続け、市政に喝を入れています。

※2021年3月現在(連続登壇記録更新中)

2010年の松山市議会議員当選以来、全定例議会で質問あるいは討論を行ない、一問一答方式の導入をさせるなど、これまでのセシモノー化した議会に風穴を開け松山市政の監視を続けています。



「一問一答方式」の導入で緊張感のある議会に



パネルを使って市民に分かりやすい質問



答弁する市長

## HPでは梶原の活動予定や 全定例議会での質問登壇が 動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。  
ご連絡ください。

ホーム  
ページ

梶原ときよし 公式ホームページ

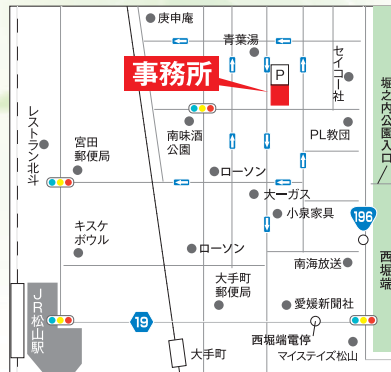
検索

## 梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2  
TEL 089-947-2258  
FAX 089-947-2259

携帯 080-5669-8586  
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時～午後5時まで(月～木)  
●金・土・日・祝日はお休みです。



お近くにお越しの際は、  
ぜひお立ち寄りください。





# 議会質問

梶原ときよし

3月議会  
一般質問より抜粋

2021年  
3月5日

**世界ジェンダーギャップ(2020年)**  
**日本は153ヶ国中121位!!**  
(発展途上国というより、現状は発展困難国である)

森前東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長の女性蔑視の差別発言と野志市長の女性部長を登用しないなどの女性差別人事を平気で言うジェンダーバイアス(固定観念)について

梶原議員

森前東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長が「男女平等」というオリンピック憲章の理念に反する女性蔑視の差別発言を行い辞職に追い込まれたが、当の本人はいまだに自分の差別発言を理解できていないようである。野志市長は「女性がたかさんいる理事会は時間がかかる」あるいは(男社会を)「わきまえた女性もいる」などの一連の森発言のどこに問題があると考えているのか。また、あつてはならない女性差別発言と捉えているのかを問う。

市民部長の答弁

男女の人権の尊重など男女共同参画の理念に反した不適切な発言だと考えています。

梶原議員

以前から私(梶原)が何度もこの議場にて女性の部長登用を大幅に増やすよう求めてきたが、野志市長には応じる気配がない。市長はこれまでの答弁で「性別で任用の判断をしているのではなく、勤務成績やその他の能力の実証に基づき判断している」と答えているが、もしそうであれば本市には部長にふさわしい勤務成績や実証される能力を持つ女性が存在しないことになるが、どう説明するのか。



また、本市役所において、本当に女性の能力実証ができていないとすれば、そこには「フェアな競争原理が働いていない」現状を変えようという、野志市長や男性幹部のいびつな考えがあり、人事における女性差別の現状を容認しているのではないかと思うがどうか。

坂雲・まちづくり部長の答弁

近年、副部長や課長級の女性職員も着実に増えていますので、女性差別はないと考えています。

野志市長は、「本市女性職員の部長級はゼロだが課長級以上が8・8%まで上昇している」と自慢するが、時代錯誤も甚だしいのでは!?

「女はお淑やかに(男社会を)わきまえておけ」と言わんばかりの女性蔑視の差別発言である!!  
市長は、もつと真剣に女性差別撤廃に向けて具体的政策を打ち出すべきではないか!!

梶原議員

市長は女性部長ゼロの現状を「おかしい」と思わないのか

野志市長の答弁

近年、全職員に占める女性職員の割合をはじめ副部長や課長級の女性職員は着実に増えており、今後も登用は進むと考えています。  
従って、女性部長がいない現状はおかしいとは考えていません。

「女性職員の割合が増えれば、女性幹部職員も着実に増える」と差別人事を認めようとしませんが、下の表にある小中学校教員の幹部構成をみれば、根拠のない差別容認発言だとわかる。

**市長は、コロナから市民の命と生活を守る  
百年に一度の予算対応をせよ!!**

市民の自助・共助に頼る新型コロナウィルス対策ではなく、政治の使命である公助を前面に出す政策に転換するべきではないか。

梶原議員

新型コロナウイルスの影響を受け、厳しい生活を余儀なくされている市民に対して行われている生活支援の貸付である、緊急小口資金等の特別貸付の受付件数が先月末現在で13,000件を超えている。生活保護受給者を含めて2万人以上の市民が厳しい生活を強いられている現状を打開すべく市長は行動を開始しなければならぬと考える。先日、ある団体が、愛媛大学で学生に対する生活支援物資の提供をしたところ、200人もの学生が列をなしたと聞いているが、本市においても市役所本館前広場をはじめ、本市の各公民館等で本市が直接市民に対し、生活支援物資の配布を行うべきだと考えるがどうか。とりあえずコロナウィルスを撲滅するまでの間、公助を前面に出す政策に転換する気はないか。

社会福祉担当部長の答弁

公助を前面に出す政策についてのうち、新たに生活支援物資を配布することは、困難なものと考えていますが、今後も、本市での、より効果的な支援策に取り組んでいきたいと考えています。

松山市職員数 (R3.3.1現在)

職	人数	男性の割合	女性の割合
全職員数	2,600人	1,697人 (65.2%)	903人 (34.8%)
部長	20人	20人 (100%)	0人 (0%)
副部長・課長	184人	166人 (90.2%)	18人 (9.8%)
主幹以下の職員	2,396人	1,511人 (63.0%)	885人 (37.0%)

※消防職員除く

松山市立小中学校教職員数 (R2.5.1現在)

職	人数	男性の割合	女性の割合
全教職員	2,359人	960人 (40.7%)	1,399人 (59.3%)
校長	80人	69人 (86.2%)	11人 (13.8%)
教頭	87人	73人 (83.9%)	14人 (16.1%)
管理職以外の教職員	2,192人	818人 (37.3%)	1,374人 (62.7%)

梶原議員

本市が2003年に男女共同参画推進条例を制定し17年が経過した。  
また、野志さんが市長に就任して10年が経過したが、市長、副市長以下、この壇上にいる本市の部長級幹部28人は、全員男性である。2003年当時に政府が掲げた「2020年までに指導的地位にいる女性割合を少なくとも30%

%程度にする」という取組に対し、本市のいわゆる2030という目標は達成されるどころか女性部長ゼロが現状である。森発言以上に許されない女性差別人事の実態を改めるべきではないかと思うが、条例無視のプロセスを含め、なぜ女性部長30%登用をも実現させないのか。やる気はあるのか、ないのか、あるいはできないのか。今議会後の3月人事からでも女性部長を30%以上登用すべきと思うが、50%以上の実現をいつまでに達成するつもりなのかあわせて所見を問う。

総務部長の答弁

本市では、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、平成28年3月に「松山市女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」を策定しました。  
その際に、国が掲げる30%という目標を本市も将来、達成すべきと認識しつつ、令和2年4月1日時点では8・8%まで上昇しています。  
本市では、議員お尋ねの率の達成時期は、女性部長に限った目標を定めていないため、お示できませんが、引き続き適正な登用に努めていきたいと考えています。

小中教員の60%が女性であるにもかかわらず、管理職は、15%しかない。  
女性職員の割合が増えても、女性幹部職員の登用が進まない「女性差別の実態」を野志市長は認めようとしません。

後手後手の対処療法的コロナ対策やワクチン待ちではなく、まずは市民が安心して暮らせるために、誰もが受けられるPCR検査体制を築くことが最優先ではないでしょうか。

梶原議員

市民への自粛要請の影響は、旅行業や飲食業関係にとどまらず、弱者や高齢者の身近な足でもあるタクシ業界にも多大なダメージを与えているのが現状である。本市はこれまでタクシー1台につき1万円を一度だけ出したようであるが、どう見ても支援とは言えない金額であり、野志市長が現地・現場を大切にするというなら、タクシー会社に向き、現状打開に走るべきだと考えるが、何か対策を考えているのか。

コロナ禍で電車やバスに乗ることについて、特に自粛を余儀なくされている高齢者や基礎疾患

庁内雑音のヒトコマ

職員A

あれだけジェンダーギャップが社会問題化しているのに、市長は何故女性部長を登用しないのですかね?

職員B

問題は市長や男性部長達が、女性ゼロのごうした現状を「おかしい」と思わない土壤にあると思うよ。

そのとおりですね。フェアな競争原理が働いていない現実を変えてこそ、ジェンダーギャップは縮小されると思います。

梶原議員



梶原ときよし(ネットワーク市民の窓)

今議会は一般質問と、議会の開会時間を8時間遅らせた無駄遣い自・公議員から出た決議に質疑、受動喫煙容認につながる決議に質疑と反対討論、また一部予算にも反対討論と5度登壇しました。

患を持つ方々に配慮し、例えば1回の乗車につき3,000円までのタクシー料金を半額にするチケットを配布するなど工夫して、市民福祉の充実とタクシ業界支援の両立を図るべきだと思うがどうか。

都市整備部長の答弁

タクシ業界への支援については、1,042万円の支援事業を実施しました。今後は国や他の自治体の動向を注視していきたい。



公務員はいいよね!まるで他人ごと答弁! マスクや消毒液支援レベルの話ではなくタクシの運転手さんや業界が生き残れるような経済支援を大至急行すべきではないのか!!あまりに危機感の無い親方日の丸答弁の羅列。そろそろリーダーの交代が必要ではないでしょうか。